京城日報

天皇陛下 五將軍に陪食の榮

賜し九將軍にも賜謁

一大國民運動展開

戰ふ朝鮮の眞姿を全內地へ紹介

半島産業戰士を慰問

派遣員

田中總監

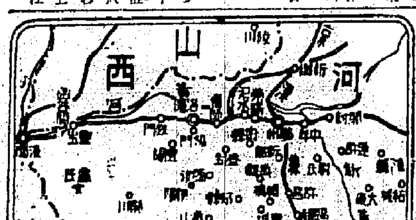
總督、五相と要談

岸國務相奏上

社說

産業戰士への慰問と激勵

應徵士の福音



東站鎭、北官庄占領

敗敵一萬六千を猛追

情勢重大化

函谷關隧道爆碎

日軍、伊陽に到達

猪突將軍默る

敵戰車三百に巨彈

コヒマ西方 空陸一體の猛攻

ラバウルに又も二百七十機

敵驅艦一隻屠る

パッテン血迷ふ

クーバンに十三機

米海軍首腦 桑港で會談

ニューギニヤ西端 エフマン島に敵襲

アンボンに 大型機來襲

國府地方行政簡素化

生産、配給の決戰化

總督、責任完遂要望

總督訓示

ガンヂー漸く元氣

在英印度人 强硬聲明

英の對印政策攻撃

英、壯丁年齡引下

サルバドル 大統領辭職

コスタリカ 新內閣成立

國防相が大統領代理に任命

米ノ民間 空路計畫

亞國外相任命

反樞軸會議を示唆

英への渡航禁止

ルーズベルト 暗殺を計畫

西歐の空戰激化

上陸作戰へ敵爆撃續く

獨戰車、セバストポリ撤收

伍堂興亞使節 きのふ新京へ

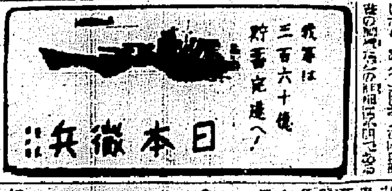
學士院會員に 柴田雄次博士

外務辭令

大東亞省辭令

總督府辭令

遊戰錄



ぜん息・神經痛 高血壓 中風 ビタミンB 一アンプル中 三,〇〇〇單位 ビーシー 今津化學研究所

機械化 5月號 特輯 海の機械戰 ☆大東亞戰と船舶兵 ☆海の機甲部隊 ☆船舶兵の使命 ☆敵の上陸用舟艇

丸善株式會社

海事概論

本邦の金屬鑛床

通信添削 科目 數學・物象・國漢・英語 神田通信學會

生物進化の機構 空氣の科學 植物ホルモン 重水の化學 大東亞圈の寄生蟲 特殊ガラスと其の用途

國民社 工作教育論 アルミニウム合金 日本の家 戰野に母あり

現代濠洲論 ホリネシヤに於ける法と秩序 東亞ワシの花園

説き知らせ激勵

内地行脚の各代表の抱負をきく

半島人の純朴を知つて貰ふ

前大・牛島總長談

東海班

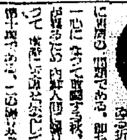
松本誠氏

朝鮮の地位を各方面に徹底

九州班

渡邊豊日子氏

母胎へ努力
戰力増強の



北海道班

夏山茂氏

内鮮融和に心魂を注ぐ

東北班

伊達四郎氏

お山の戰士に温い心を要望

北陸班

金信錫氏

勞務者や首脳者と増産懇談

近畿班

高元勳氏

産業戰士ごとつくり話合ふ

大楠公顯彰

徴兵制の功勞者を表彰

學童のパン給食中止

京城府、お米の當籍に轉換

壯丁の感激一しほ

尾形侍從武官 江西郡徴兵署を實視

皇后陛下

東宮假御所行啓

聖恩に恐懼感激

誓つて増産に邁進

日華親善楔の觀音堂

十四日盛大な入佛開眼式擧行

小磯總督參列

畏し皇后陛下

有難き令旨を賜ふ

日赤總會通常開く

令旨

誓ふ報國恤兵

故元帥の海軍葬

英靈は十二日正午發靭

多摩名譽靈域

元帥葬所決る

寄せる弔文八百通

故元帥の御遺徳

洽き御仁慈

萬國赤十字社

皇室を讃ふ

降つたぞ苗床に

慈雨に全鮮にこく

目立つ双生兒

京城の夢

特殊勤務者に特別調査

中根京畿道長談

內申書に重點

大邱高專入試

皇民錬成講習會終了式

朝鮮の獻金

貯蓄して次に生活

十八億圓達成に奮起せよ

白鳥石渡淺放信任

身體檢査は來月下旬

本年の特別甲種幹候生召集

奉　賛

國語の常用

メガネは村木

現株市価

證券市場

大相撲四日目休止

水虫に

スクッミカ

社名變更謹告

新社名 朝鮮革配給株式會社

舊社名 朝鮮製革販賣統制株式會社

所在地 京城府中區 電話本局

看護婦採用　朝鮮纖物會社　龍山自動車修行社　金井聖吉　求小使　富國徴兵　求急事務所　滿蒙毛織　求高級下宿　興亞海上　女子　朝鮮鐵道　女子事務員採用　朝鮮船舶　女子事務員　孵卵　發動　看護婦見習　責任　店員　事務　高級從業員

京城職業紹介所

職場

女子事務員

（日室興南工場）

平壌職業紹介所

內地人守衛募集

耐火粘土 雲母 末

西川礦産業社

大日本雄辯會講談社

花柳病

家庭看護 生きた慰問袋 にはか雨 水防 日本ニュース

京城 三越

三越女店員募集

朝鮮銀行 庶務課

印刷工採用

是川製鐵株式會社

賄婦